

うかい雅彦通信

区政報告

発行：うかい雅彦事務所
〒108-0074
東京都港区高輪1-26-18-402
Tel&Fax:03-3442-7232
E-mail:masahiko33@nifty.com
http://www.minato-jimin.com

初の議会で 新人トップバッターの一般質問！

うかい雅彦君の、豊富な経験と情熱そして誠実さは、必ず新しい港区の扉を拓く大きな力になると確信しております。

内閣官房長官 与謝野 馨

本年4月の統一地方選挙におきまして、1,397の温かい、そして期待を込めて頂いた票を頂戴致しました。その1,397票の重み、責任を背負いながら、これからの議会活動に励むつもりであります。6月の第2回定例会では、新人でありながら大変光栄なことに、新人のトップバッターとして一般質問をさせて頂きました。49年間この港区で生きてきた想い、感じてきたことを混ぜながら、区長に対して質問させて頂きました。質問の全文も今回掲載させて頂きましたので、是非ご一読頂けたら幸いです。『皆様の声を区政に届

けます!』これをモットーに今後もがんばって参る所存でございます。

何でも結構です。お困りのこと、区政に対する質問、要望等、是非お聞かせ下さい。必ず解決の道を探します!行動を起こさなければ結果も分かりません。動いてみて、ご期待に沿えない場合もあるかもしれません。しかし何故駄目なのか?動かない人間には分かりません。私はやります!是非私に皆さんの声をお聞かせ下さい!

うかい 雅彦

建設常任委員会、 まちづくり・子育て等特別委員会(副委員長) に決まりました!

議会での所属委員会は建設常任委員会と、まちづくり・子育て等特別委員会に所属となりました。まちづくり・子育て等特別委員会では、新人ながら副委員長を務めさせて頂いております。第2回定例会では、建設常任委員会において、まちづくり条例等が審議されました。このまちづくり条例は、地域の皆さんが自分達の住環境を皆さんで考えていくものであります。9月より各支所で説明会が始まります。是非説明会に参加し、自分達の住環境の今後について皆さんで考え、話し合ってくださいと思います。

うかい雅彦後援会を発足しました!!

この度うかい雅彦後援会を発足致しました。会長に西広保之様、青年部長に栗田芳信様、婦人部長は伊佐間八千枝様をお願いを致しました。その他の役員については、決まり次第ご報告させて頂きます。総会開催を目指し、現在準備を進めております。

PROFILE

- 昭和33年7月12日、港区高輪生まれ。港区立高輪台小学校、同高松中、私立成城高校、専修大学経済学部卒業(体育会ゴルフ部所属)、株式会社明治屋入社。家業を継ぐ為退社、二本榎通りで大榎屋酒店を家族で経営(平成17年まで)。
- 家族：妻、柴犬一匹
- 趣味：ゴルフ、音楽鑑賞



平成19年第2回定例会 うかい雅彦一般質問内容

自由民主党議員団のうかい雅彦でございます。去る四月二十二日の統一地方選挙において、厳しい戦いを勝ち抜いてこられた皆様と共に、これから四年間議論を尽くし、より一層の素晴らしい港区を目指して頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。何分にも新人でございますので、大変緊張をしておりますが、『区民の皆さんの声を区政に届けます』を信念に戦って参りましたので、いかに四年間それが出来るかを目標に質問等もさせて頂きたく存でございますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

質問に入る前に、六月八日所管の常任委員に報告され、その後マスコミに発表されました学校法律相談制度につきまして、NHKをはじめ多くの報道機関が取り上げました。これは、本年六月から学校・幼稚園における複雑かつ様々な法律問題への対応方法について、法律の専門家である弁護士から指導助言を受けることにより、問題の未然防止や早期解決に役立るといえるものであります。最近の学校を取り巻く社会環境が変わるなか、この制度により、新聞などで報じられている近隣のトラブルや色々な不当な要求に弁護士からの確かなアドバイスを受けられれば、問題の早期解決などに大いに役立つと思っております。このことにより、先生が本来の仕事である学習指導や生活指導に専念し、子供一人ひとりに向き合える時間が確保できれば、学校の負担も軽減され、子供一人ひとりの成長を支援となるものと思います。自民党としてもそのことは高く評価いたします。今年度は、初めての事業ですので、色々な課題を検証するなかで今後より良い制度にしていきたいと思います。ご期待していただきます。



平成19年第2回定例会 うかい雅彦一般質問内容



新官房長官に就任された与謝野警衆議院議員（左）

それでは、質問に入ります。今回、私の身近な高輪を例に挙げてお話をいたしますが、これは高輪のみならず、港区全体に言えることと思っておりますので、区長にはぜひ、港区全体の大きな視点からの答弁をいただきたいと思っております。

近年は、日本におきましても治安が非常に悪くなってきたと聞いています。例えば、幸い大事に至っておりませんが、高輪一丁目の都営アパートでは、放火や防犯用のカメラが壊されるなど、住民のみならず不安な日々を送っている状況です。近い将来、同様な公営住宅においても、簡単に外部の人が出入りできないようにしなくてはならない時期が来るのではないかと心配しております。この様な所感を抱きつつ、まちづくりについて二点ほど、区長に質問いたします。どうか前向きな、大きな視点での答弁を宜しくお願いいたします。

まず第一点は、港区のまちづくりについてです。今、高輪地区ではワンルームマンションが多く建ち始めたように見受けられます。バブル期のころのように地上げをとまなうようなものではなく、敷地面積もそんなに広くない所にさつさと建てて売っていくという状況です。開発業者さんにとつては、早く建てて早く売却しないと利益が出ないのではありませんか、手間ひまかけて近隣と一体化して大きく建設するという感じではありませんか。結果として、高い、高さもまちまちのペシシルビルでも表現すればいいのでしょか、街の景観という点で調和がとれないものとなっていきます。居住者の生活時間帯は周辺の地域のみならずと大きくずれ、住民票を移してあるかどうかともわかりません。自主的な管理組織もないものが多く、町会・自治会の加入も望めない状況です。企業が棟丸ごと社宅がわりに借りているという話も聞いています。この状況が続き、もし大きな地震がやってきたらどうなるのか、火災など災害時にどのように対応していくのか、非常に問題であるといわざるを得ません。

また、ごみの問題にしても、小さなマンションのため、ごみの保管場所が十分に整備されておらず、管理人が常駐していません。これもあって、収集日でもないのに歩道上にごみが散乱する状況も見受けられ、地域でトラブルになっていくという話も聞いております。安心・安全な港区を目指す上でも、また防災住民組織の構築の上でも、地域をまとめていく町会・自治会のみならずの負担を考えると、何らかの手を打っていかねばならないと思われまます。区としては、一定規模の単身者用住宅の規制はすでに設けていると思えますが、この規制にもひつかからない、規制外のマンションが増え、近隣の住民の方と揉めていることをご承知おきたいと思っております。

今回はワンルームマンションを例に挙げましたが、ワンルームに限らず小規模マンション建設の問題は、どの地域でも地元のみならず負担を強いる様々な問題を引き起こしています。区長は、区民の立場に立ったまちづくりを進めていくことを基本とされていると思えますが、港区として、これからのようなスタンズで臨まれるのか、コミュニティのあり方も踏まえて、お聞かせいただきたいと思っております。

次に、電線類の地中化の促進について質問いたします。学校の通学路の頭上を見ると多くの電線が垂れ下がり、見た目も悪く、また、ただでさえ狭い道路が電柱のためにさらに狭くなっている場所が多く見られます。地震や台風などの災害時に、電柱が倒壊したり、電線が切断したりすれば、歩行者の安全面から、また、通信サービスの機能停止など、様々な問題が生じます。例えば、まずは将来ある大事な子どもたちを守る意味でも、学校の近隣から電線の地中化を進めるなど、対応策を考えていただけないでしょうか。素人考えで恐縮ですが、すぐに地中化ができないとしたら、電線電柱などに関し、区として管理者への働きかけなど、何か対応できることはないでしょうか。港区全域の問題として、どのような考え、対応があるのかお聞かせいただきたいと思っております。

また、まちづくりという点で、最後にひとつだけお話をさせていただきたいと思っております。私は、一昨年末までメリーロード高輪商店会の会員でございました。現在、当商店会が高輪町栄会変身戦略プログラムのもと、港区そして東京都からの支援をいただき、街路灯を一新し、ポイントカードの導入、またいろいろないイベントを通して頑張っているわけでございます。ただ、厳しい世の中には変わりはない、商店数は全盛期の半分には減少しております。消費動向の変化、後継者不足等が原因ではないかと考えております。同じ商品を売るにあたり、大規模店との価格差があまりに大きいことは、市場原理とはいえ、やはり問題ではないかと思っております。この商店の減少、特に長い間港区を支えてこられた方々が転廃業を余儀なくされている現状を、行政としても頭に入れておかなければならないと考えます。

特に今回私が申し上げたいことは、例えば、高輪田二本通り、現在のメリーロードでは、地元では昔より地図に赤い線を引いたことから呼ばれたのでしょうか、赤線と呼ばれる道路計画「補助一四号」がございます。高輪の地形で申しますと、メリーロードは馬の背を通っている様な道でございます。この地域は道路に面した家屋の裏がお寺のお墓だったり、崖であったりと、セッバックしたらまともなビルが建たない状況が多く見受けられます。土地の有効利用ができません。例えばマンション等に改築する、あるいは二世帯住宅にするとか、セッバックすると狭くて無理だったり、採算上合わない状況になっているわけでございます。大事な区民の財産である土地を、やはりいつまでもこのまま議論もせずに計画を残しておいて良いものか、長い間疑問に感じておりました。十年ほど前に、商店会で区の職員の方にきていただき話を伺いました。その際のお話では、優先順位がつかないほど順番が後ろの計画であるとのことでした。計画を進めるのか止めるのか、もう六

十年も経ってしまったら、計画をこのままにしている良いものなのか、そろそろ区民の皆さんの声を交えて議論しなければいけない時期に入っていると思っております。後継者のいない高齢者の商店街になりつつある現状をご理解いただきたいと思っております。今回高輪地区を例に挙げて申し上げましたが、この様な計画は当然港区の各地域にあることと思っております。今後港区として、計画地域に隣接する区民の皆さんのために前向きな早期のご判断を要望しておきたいと思っております。

二点目の質問は、高齢化社会についてです。私には、七十代後半の両親がおります。二人とも元気でいてくれて、たいへん嬉しく、有難いことだと思っております。ただ、どうも具合が悪いわけではないのですが、元気がありません。年金が下がりが医療費が上がり、ニュースを見ても先行き明るい話がないせいでしょうか、どうも元気がない。そんな高齢者の皆さんのため、区としても福祉会館の改築等いろいろな施設を作ったり、ひとり暮らしの高齢者の訪問等さまざまな施策を行っているとは思っています。既成の伝統的なサービスではなく、もう少し違った形のサービスといえますか、新たな少し違う視点での対応があってもいいのではないのでしょうか。ひとつの例ですが、海外の名作映画や若大将シリーズなど昔の映画の上映でもいいのではないのでしょうか。低予算でも高齢者の方が楽しめることいろいろあると思っております。福祉会館以外でも、支所等も使って、広く、簡単にできることから始めていただき、高齢者の方に、まだまだこれからの方を生をエンジョイしてもらおうようなサービスの創設を期待いたします。また、すでに現在いろいろと行われているサービスにつ

てもお知らせのしかたを工夫する必要がありますと思っております。若い人たちと同じにやっても高齢者の方には伝わりづらいのではないのでしょうか。せっかくなので、行っている事業を、もっと多くの高齢者の方々に知っていただけたら、どうか手を打っていただきたいと思っております。

次に、高齢者に配慮したまちづくりについてお聞きします。高齢者の方々が安心して街を歩けるように、いち早いバリアフリー化を進め、自分たちが大事にされていると感じることができるような港区に、ぜひいただきたいと思っております。区は、今年四月に港区交通バリアフリー基本構想を策定しましたが、今後この基本構想をどの様に活用し、高齢者や障害者が安全、安心、快適に移動できるようにしていくのか、区長のお考えを伺いたいと思っております。

それから、以前から話が出ておりますが、都営浅草線の泉岳寺駅エレベーターを、という声は相変わらず多く、この件は少しずつながら前進していると伺っておりますが、引き続き実現に向けてよろしくお願ひ申し上げます。

今回大きく二つの事について、私の身近な高輪を例に挙げながら質問をいたしました。さきほど申し上げましたが、これは港区のどの地域でも抱えている問題であります。ぜひとも区長には、港区の将来をこれからどのように舵取りなさるお気持ちをお聞かせ、前向きな答弁をよろしくお願いいたします。ご静聴ありがとうございます。

区政への質問・ご要望は **うかい雅彦事務所**

〒108-0074 東京都港区高輪1-26-18-402

Tel&Fax : 03-3442-7232 E-mail : masahiko33@nifty.com

http://www.minato-jimin.com